

最大で30%の増収！所得向上に貢献できる大豆小畦立て播種栽培

- (1) 代かき用ハローをベースに、費用と手間をかけず大豆小畦立て播種機ができます。
- (2) 小畦立て播種機は高能率なことから、大規模栽培に対応でき、湿害回避効果の大きな圃場で特に増収し、所得も向上します。

(1) 小畦立て播種機って？

代かき用ハローの爪配列の改変と小畦立て用の播種機アタッチメント装着により、2～3時間程度で下図のような小畦立て播種機を組み立てることができます。費用は機種によりますが播種ユニットを除いて6～11万円程度です。ハローのサイズにより3条もしくは4条仕様ができ、比較的馬力のトラクタでの高速作業が可能なることから13ha～20haの面積がこなせます。なお、組み立てに関する詳細は、いわてアグリベンチャーネット(<http://www.nougyou.kitakami.iwate.jp/Agri/index.html>)内の農業技術情報でご覧になれます。

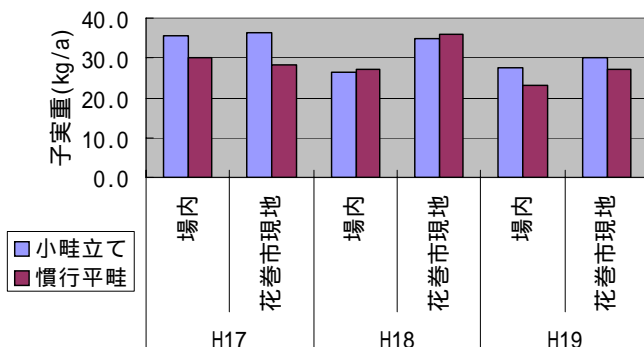


4条小畦立て播種機（ハロー耕幅300cm、条間75cm）

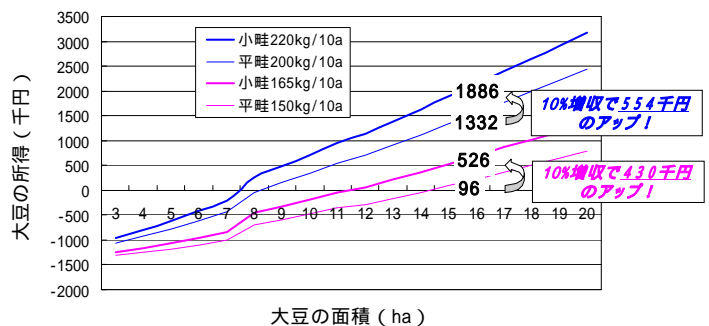
オプションで、チゼル爪と線引きマーカを装着しています。

(2) 小畦立て播種栽培の導入効果

湿害の発生条件によりますが、最大で30%程度、平均で10%程度の増収が期待できます。水稻30ha大豆15haの経営体における所得を試算すると、小畦立て栽培の導入により430～554千円の所得増加となります。



過去3年間の大豆収量



小畦立て栽培導入による所得シミュレーション

グラフ内の数字は15haでの所得(千円)